

闘春 2024

組合員、ご家族のみなさん、OB諸先輩のみなさん、新年あけましておめでとうございます。

JR総連は昨一年、「平和・人権・民主主義」を守るたたかいを軸に、2023JR総連春闘をはじめとした賃金、労働条件の向上、地方ローカル線の維持・活性化の取り組みを加盟各単組との「連帯・共闘」の強化を組織的課題としてたたかってきました。

今年も私たちを取り巻く情勢は厳しさを増しています。約2年にわたる「ウクライナ・ロシア戦争」やイスラエルとパレスチナのイスラム組織「ハマス」との武力衝突の収束は困難を極めています。国連による停戦決議もアメリカやロシアの「拒否権発動」により実効性がありません。一方、日本においても「中国・台湾の武力衝突の危機」や「北朝鮮の核・ミサイル開発の脅威」を理由とした南西諸島、沖縄本島における自衛隊機能の飛躍的強化、敵基地攻撃能力としてのトマホークの購入、武器移転三原則の緩和、政府安全保障能力強化支援(OSSA)の創設など、日本の軍事大国化に向けた政策が着々と進行しています。

ひとたび戦闘が起きれば、国際法は無視され、何よりも大事な民衆の命や尊厳が踏みにじられています。JR総連は、「あらゆるテロにも戦争にも反対」という意思を貫き、あらゆる戦争政策、軍事大国化の道に反対していきます。

憲法改正に向けて「緊急事態条項の創設」や、野党からも「首相の解散権の制限」などの改憲議論が始められました。「改憲癖」につながる動きに危機感を持ち、年明けの通常国会にも注目していかなければなりません。政治献金の問題の陰で日本が極めて危険な道を進もうとしている今こそ、政治に関心を持ち、私たちの力を発揮しなければなりません。

2024JR総連春闘は、「統一要求・統一闘争」を貫き、組合員の生活実態を踏まえ要求づくりを行います。さらに今年も、組織強化、拡大のために職場の運動づくりを強化することを課題にしていきます。

地方ローカル線の維持・活性化についても力を入れて取り組んでいきます。昨年は、地域の仲間や国会議員の皆さんとの議論において大きな成果をあげました。今後の課題は、さらに深く地域の声を集約し、「政策」として練り上げていくことです。

協力会社の仲間が命を落とす事故が続いています。安全を最優先し、再発事故を防ぐために徹底した原因究明に取り組みしましょう。

JR総連は、今年も加盟各単組の仲間と固く連帯してたたかいます。「抵抗とヒューマニズム」を基底に、すべては組合員のためにたたかきましょう！



全日本鉄道労働組合総連合会

執行委員長

山口

浩治

JR総連加盟単組委員長 —年頭所感—

JR総連にすべての力を結集し奮闘していく！

北海道旅客鉄道労働組合

中央執行委員長 中川 憲一



JR総連に結集する組合員ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年にはJR北海道に対する次期の経営支援について、国の具体的措置を決する最終局面を迎えます。新中期経営計画の策定と一対の課題であり、これまで関係の皆様へ数次に渡る継続的な要請行動を重ね、ご協力をいただいています。私たちの合い言葉は「経営自立までに必要な支援の実現とともに、安全・健康・ゆとり、利便性の維持・向上をかりとり、JR北海道グループに集う組合員・家族の幸せを実現しよう！」です。最後まで組織を挙げて取り組む所存です。

世界中の惨禍は拡大するばかりです。戦争やテロが絶えることはありません。どのような理由であれ、誰であろうとも、罪なき民衆のいのちとくらしを奪う権利などありません。

岸田首相は、日本の軍備増強や原発回帰を進めています。「台湾有事」を煽る米軍事戦略のもと、集団的自衛権と敵基地攻撃を行使する戦争準備体制の強化は破滅への道のりです。いまや国民負担率は50%に迫り、さらにのし掛かる防衛大増税、ステルス増税が待ちかまえています。格差と貧困の悪化が「新しい資本主義」の実像です。すべてを労働者・民衆の犠牲に帰結する政治に対して沈黙は許されません。NO！を突きつけ、断をくだすための行動が問われています。

いのち・くらし・平和の危機を突破するたたかいを国内外におし広め、2024JR総連春闘を連帯・共闘の強化でたたかい抜きましよう。甲辰の年。芽が成長して努力が実る年と言われます。JR総連にすべての力を結集し、奮闘してまいります。ともにたたかいましよう！

連帯・共闘で広範なたたかいをつくり出す！

東日本旅客鉄道労働組合

中央執行委員長 佐藤 英樹



組合員・ご家族・OBの皆さん新年おめでとうございます。日頃よりJR東労組に対しましてご指導・ご支援を頂きまして大変ありがとうございます。

私たちは「抵抗とヒューマニズム」「安全なくして労働なし」を根底に据えて、働き方の変化や会社組織の再編施策、相次ぐ物価上昇に対する労働実感と生活実感を基礎にした春闘・期末手当などの要求実現、平和な社会の実現に向けて果敢にたたかってきました。その結果、組織拡大は22名（2023年6月定期大会以降）を実現することができました。現在職場では過度な要員不足が発生していることや休養時間が確保されないために疲弊し、仕事に前向きになれずに会社を辞めようかと悩み、異動や働き方の変化で精神的な負担を強いられている組合員・社員が多くいます。このような職場環境ではお客さまの命、組合員・社員の命、JR東日本グループの安全を守ることができません。儲けが優先される会社ではなく、何ごとも命と安全を最優先に判断できる職場の確立に向けて奮闘する決意です。

岸田政権は台湾有事を想定し、「戦争する国」へと突き進んでいます。私たちJR東労組はテロにも戦争にも反対であり、「すべての戦争政策反対」「即時停戦」「憲法9条改悪反対」を掲げ、職場と地域の皆さん、議員の皆さんと共に連帯・共闘で広範なたたかいをつくり出します。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

労働者の権利と生活を守るため JR総連の仲間と共にたたかっていく！

JR東海労働組合

中央執行委員長 淵上 利和



新年あけましておめでとうございます。昨年8月、関連会社に出向している組合員が、出向先会社の社員と共に

に新労組を結成しました。この間、会社は組織破壊を目的に54歳出向制度を悪用し、多くの組合員を関連会社に出向させてきました。組合員は出向先会社で働く社員との関係を作り出し、労組結成の成果を勝ち取りました。労働組合組織として整理すべき課題は残っていますが、新労組結成を通じて、4人に続く組織拡大を必ず実現していく決意です。

また、年休が付与されず失効する事態は、労働基準法第39条に違反するとして2017年11月、東京と大阪で会社を訴えました。そして2023年3月、東京訴訟では会社が労働契約上の義務を怠ったとして、合計54万円の損害賠償金を支払うことを命じる勝利判決を勝ち取りました。しかし、大阪訴訟では、私たちの訴えを一切認めない不当判決でありました。東京、大阪共に控訴審での争いとなり結果を迎え、2024年に判決となります。東京訴訟での勝利判決は、JR東海に留まらず労働者の年休権の前進を勝ち取る大きな成果です。控訴審勝利と働きやすい職場を作るたたかいを進めています。

ロシアとウクライナの戦争、そしてイスラエルのガザ地区への武力進行によって多くの労働者、市民が傷付き亡くなっています。私たちは一日でも早くこの戦争を終息させなければなりません。また日本においても戦争ができる国作りに反対し、戦争のない平和な社会を守ることは私たち労働組合の課題です。労働者の権利と生活を守るために、JR東海労は労働者の連帯を求め、JR総連の仲間と共にたたかっています。本年もよろしく申し上げます。

平和な社会のもと、組合員と共に
諸課題の改善と組織強化・拡大をめざす！

JR西日本労働組合

中央執行委員長 前川 誠



JR総連に結集する仲間のみならず、新年あけましておめでとうございます。

昨年一年における皆様からの支援・連帯の取り組みに心から感謝申し上げます。

昨年はJR採用の2名が私たちと共に闘う決意をしていただきました。賃金・労働条件や職場で発生する理不尽な出来事に組合員と共に会社に向かい、改善を求める姿が評価されたと思っています。2023春闘において期末手当が要求を大きく下回り低額に抑えられました。当時経営は回復基調であり、さらなる回復が十分に予想される中で組合員の不満は大きく高まり、年末の一時金要求、そして獲得へと繋がったことは大きな成果であると受け止めています。労働組合は組合員の声を要求に高め、その要求実現に向けて団結して闘うことがあたりまえの姿であり、決して会社から与えられるものではないことをしっかりと職場で広げていかなければなりません。JR西労は引き続き組合員と共に職場から実践し、諸課題の改善と組織強化・拡大をめざします。

ロシアがウクライナに侵攻・侵略し、1年10箇月が経過しました。さらにイスラエルとハマスの戦争も勃発し、罪のない市民の多くの命が奪われています。岸田政権は敵基地攻撃能力の保有を明記した「安保関連3文書」改定を閣議決定し、「戦争をする国」へと突き進んでいます。私たちは一切の戦争と戦争に繋がる政策に反対し、「戦争放棄・戦力不保持」を謳った憲法9条を守るためにJR総連に結集する仲間の皆さんと力を合わせて取り組みを強化していきます。本年もよろしくお願ひします。

組合員の雇用と生活を守るため
JR総連の旗の下さらに結束を深めていこう！

日本貨物鉄道労働組合

中央執行委員長 高木 康之



JR総連に結集する仲間の皆さん。新年明けましておめでとうございます。

せ、海外からのインバウンドも戻り、街には活気があふれてきました。この間コロナによって職場活動も制限されてきましたが、これまでできなかったことを取り戻し、組織強化に向けて邁進する年としていかなうてはなりません。

今年にはJR貨物にとっては大きなターニングポイントになる、いわゆる2024年問題がスタートします。現在トラックドライバー不足による倒産件数も増加している中で、JR貨物に課せられた社会的責任を果たさなくてはなりません。

また環境問題も待ったなしです。近年豪雨災害による被害が増加し、国連も「温暖化」から「沸騰化」へと表現を改めました。この環境問題も人類の生存に欠かすことのできない課題です。

この追い風に乗り総合物流企業として、選択される輸送モードとして大きく飛躍しなくてはなりません。そのためには、安全・安定輸送の実現を図り、国土交通省が設置をした「あり方検討会」で求められた課題の実現を図り、KGI/KPIの達成とともに、10年程度で輸送量を倍増する目標の達成に向けた施策を今から打っておくことが大切と感じています。

ロシアとウクライナ、イスラエルとハマスの戦争が終息せず、円安も進行している中にあり、世界が政治的にも経済的にも混迷を深めています。当然日本も無関係とはなりません。組合員の雇用と生活を守るために、JR総連の旗の下さらに結束を深めていこうではありませんか。今年1年よろしくお願ひします。

組合員との対話を通して連帯を深め
業務環境の再構築を目指す！

鉄道総合技術研究所労働組合

執行委員長 金元 啓幸



JR総連の旗のもとに集う仲間の皆さま、新年あけましておめでとうございます。昨年一年も皆さまから多くのご指導とご鞭撻を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症として位置づけられて以降、社会経済活動は順調に正常化へ向けた歩みを進めています。鉄道の利用も、コロナ禍前の水準に近いところまで回復し、明るい兆しが見えています。一方で、昨今の物価の高騰は社会経済活動へのリスクとして顕在化しており、組合員の生活にも大きな影響を与えています。

このような状況の中、鉄研労では、「安心で豊かな暮らし」と「働き甲斐のある職場」の両方を高めることが、組合員のモチベーションを高め、ひいては、高い品質の成果を生み出し、鉄道総研の持続的発展につながる、との考えを運動の基本としています。今年には、組合員の「安心で豊かな暮らし」を実現するために、賃金・雇用条件の維持・改善や福利厚生等の改善を目指します。また、「働き甲斐のある職場」を実現するために、デジタル環境の整備やコロナ禍に改正のあったテレワーク規程・旅費規程に関して、鉄道総研の働き方に適したより良い制度に向けて組合員や当局との議論を深め、高いモチベーションを持つ業務に取り組める環境の再構築を目指します。

今年も微力ながら、鉄道の安全と発展、そしてJR総連の活動に貢献できるよう、一層の努力を重ねてまいります。皆さまのご支援を賜りますよう、心よりよろしくお願ひ申し上げます。

仲間と連帯し
さらなる高みを目指して奮闘する！

鉄道情報システム労働組合

執行委員長 三枝 祐野



新年明けましておめでとうございます。コロナ禍においては、組合活動の基本であり、当たり前であった「対面でのコミュニケーション」が十分に出来ないことに悩みながらも、組合活動を止めないよう、工夫して取り組んでまいりました。

そのような状況の中で取り組んだ2023春闘では、ベア5000円という大きな成果を勝ち取る事ができました。本来あるべき「ベア要求」をこれまで以上に強く推し進め、生活レベルの維持向上が必要と訴え続け、ベアに集中した闘いを創り上げました。仲間の皆さんからたくさんの激励をいただき、ともに切磋琢磨し成し遂げた結果であることは間違いないと思います。JR総連全体で創り上げた2023春闘の闘いの成果をバネにして、2024春闘ではさらなる高みを目指し最後までたまたかい抜きます。

長きにわたるコロナの影響は、まだ完全に消え去っていません。失われたものを取り戻し、今あるものをさらに磨き、そしてこれまで無かったものを創造する。この地道な活動を組合がしっかりと担っていくこと、労働組合の存在意義を示すことが、重要ではないでしょうか。

技術の急速な進歩、世の中の価値観、考え方や行動の変革が急激に進む中においても、我々労働組合がこれまで守り続けてきたものを改めて見つめなおし、今だからこそ、組合員の安全、安心を最優先に、働きたいのある職場の実現に向け、JR総連の旗の下に集う仲間との連帯を強め、奮闘していく決意です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

組合員の雇用と
健康を守るため奮闘する！

ホテル聚楽労働組合

執行委員長 斎藤 敏彰



新年、明けましておめでとうございます。昨年1年を振り返ってみると、コロナ禍で影響を被った観光産業への

政府による全国旅行支援策や、5月8日から感染症5類に引き下げられ、感染予防対策の緩和から宿泊客が戻り始めました。しかし、春闘での基本給見直し交渉や夏季一時金交渉では、依然コロナ禍の影響による打撃が回復できていないとして、低額での妥結となりました。年末一時金交渉では、下半期のホテル売上計画をクリアし、組合員・社員の期待は高まっています。今後の仕事へのモチベーションの向上、更には若い社員の離職を食い止め、安定した生活を送り希望の持てる将来のためと訴え、粘り強く交渉を重ね、過去一番の支給額を引き出すことができました。

今年、ホテルの営業スタイルが大きく変わる事になりました。客室定員を見直し、客室の改装などを図って運営していきたいと、営業所責任者から方針が示されました。団体客を制限し、少人数のお客様をターゲットにしたホテルを目指していきたいと考えています。新たな営業方針が示され、今後は人員不足を補う、総合的な勤務体制作りに向けて労使協力しながら進めていきたいと考えています。そして、創業100周年を迎えた今、更なる安定した生活を守るためにも、業績の回復に向け、今年1年も組合員の雇用や健康を守るため奮闘していきます。コロナ感染が落ち着いた今、職場環境を再点検して働き甲斐ある職場を目指し、奮闘して行きましょう。

新年御挨拶

新たな戦前に抗い
「平和・人権・民主主義」を守ろう！

憲法9条—世界へ未来へ連絡会(9条連)

事務局長 齋藤 弘敦



JR総連各単組の組合員の皆さん、ご家族の皆さん明けましておめでとうございます。

この間、JR総連の仲間の皆さんには、9条連に対し心温まるご指導・ご支援をいただき心より感謝を申し上げます。また、全国から9条連ニュース購読・拡大に向け献身的に取り組んでいただいていることに敬意を表します。沖縄県那覇市で開催された「11・23県民平和大会」に参加しました。現在の沖縄は昨年の安保3文書の閣議決定以降、急速に軍備増強の波が押し寄せています。各島々に迎撃ミサイルが配備され、戦闘車が公道を走り、自衛隊が集落の中を行軍する等、生活の営みと並行して戦争への準備が着実に進められていることを住民の皆さんは身近に感じています。

明らかに「戦争色」が色濃くなっている事態は決して沖縄だけの問題と捉えてはなりません。現在、イスラエル・ハマスの軍事衝突や泥沼化するウクライナ戦争など、世界各地で武力衝突・軍事緊張が高まり、それらに便乗した岸田政権は大手を振って軍事増強を進めています。戦争を体験した高齢者から若者まで幅広い年齢層が「いま歯止めを掛けなければ、再び戦争に巻き込まれる」という危機感を今こそ共有する時代です。2024年は日本の進路を左右する重大な局面を迎える年と受け止めざるを得ません。私たちは時代の風に流されず、過去から学び、新たな戦前に抗い「平和・人権・民主主義」を守るため、私たちの責任で自民党・岸田政権の暴走を止めなければなりません。そのためには平和を心底願う「チャン」とした政治家を国会に送り出す時です。共に奮闘しよう！

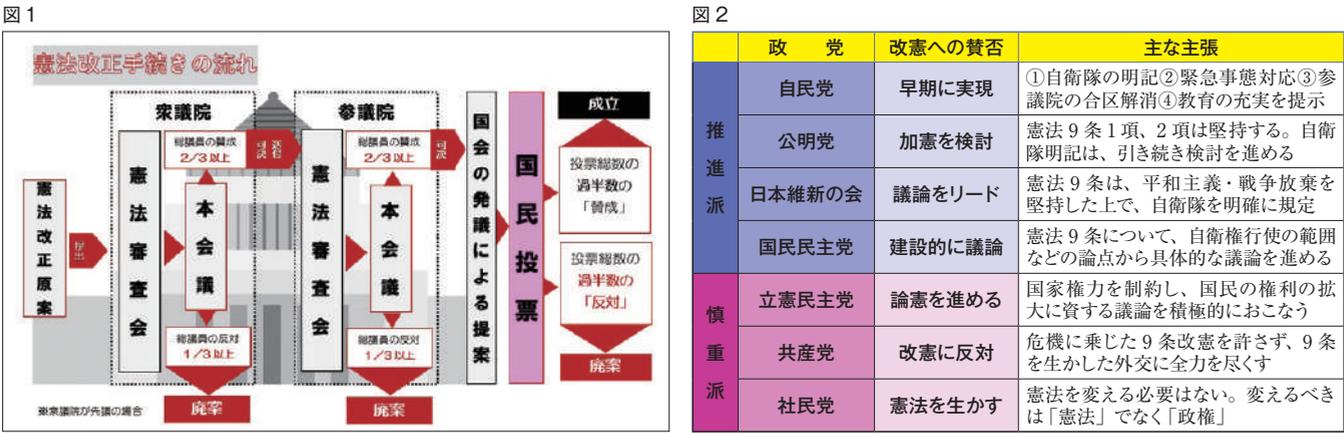
憲法改悪反対！ 「平和・人権・民主主義」を守るためにたたかおう！

憲法9条の改悪にむけた国会議論が加速しています。今こそ憲法9条を守り抜くために、9条連の仲間とともに、職場と地域から「憲法9条改悪反対」の声を上げ、憲法改悪反対のうねりをつくり出すと同時に、憲法改正の国民投票を想定し、投票総数の過半数以上の「反対」を実現させる体制づくりをすすめよう！

岸田首相は、首相就任以来一貫して「任期中に憲法改正を実現する」と強い意欲を示し、12月5日に開催された自民党憲法改正実現本部では「憲法改正は条文案の具体化を含め、国民に対して改正の発議を見据えた議論をしなければ、いつまでも歩みを進めることはできない。国民の機運を盛り上げることが出来るかが問われている。自民党総裁として、目の前の任期中に改正を実現したいとの思いにいささかの変化もない」と述べるなど、改めて憲法改正への意欲を示しています。

国会では、衆・参両院共に改憲勢力が2/3以上を占めており、憲法改正原案が提出されれば、衆・参両院で可決される可能性は高い状況にあります(図1)。また、憲法審査会は昨一年間で、衆議院で22回、参議院で11回開催されています。自民党は「緊急事態条項の創設」を皮切りに、憲法改正に慣れるいわゆる「改憲癖」をつくり出そうとしています。一方、一部野党からも「首相の解散権の制限」などの問題を取り上げ、改憲議論に加わる姿勢が見られます。主な各党の憲法改正については記載の通りです(図2)。

国会では、憲法改正原案が提出されれば、可決される可能性が極めて高いことから、憲法改悪を阻止するには「国民投票」によって「廃案」にする道しか残されていないという危機感を持ち、取り組みを進めていかななくてはなりません。



	政 党	改憲への賛否	主な主張
推 進 派	自民党	早期に実現	①自衛隊の明記②緊急事態対応③参議院の合区解消④教育の充実を提示
	公明党	加憲を検討	憲法9条1項、2項は堅持する。自衛隊明記は、引き続き検討を進める
	日本維新の会	議論をリード	憲法9条は、平和主義・戦争放棄を堅持した上で、自衛隊を明確に規定
	国民民主党	建設的に議論	憲法9条について、自衛権行使の範囲などの論点から具体的な議論を進める
慎 重 派	立憲民主党	論憲を進める	国家権力を制約し、国民の権利の拡大に資する議論を積極的におこなう
	共産党	改憲に反対	危機に乗じた9条改憲を許さず、9条を生かした外交に全力を尽くす
	社民党	憲法を生かす	憲法を変える必要はない。変えるべきは「憲法」でなく「政権」

国民投票を見据えてたたかおう！

国民投票では、「賛成・反対」のいずれかに「○」を付ける方法で投票がおこなわれ、投票総数の過半数が「反対」で廃案となります。ですから、いかに多くの有権者が「反対」に「○」を記すかが重要です。

憲法9条改悪を許さず、「平和・人権・民主主義」を守り抜き、組合員と家族が安心して暮らせる社会を実現するために、職場と地域から議論を深めると共に、具体的に国民投票で見据え、多くの人に「反対」に「○」を付けてもらう体制づくりを進めていこうではありませんか。

あけましておめでとうございます

本号もよろしくお祝い申し上げます

110124年 元日

「もしも」に備え 「もしも」を防ぎ 「もしも」に向き合う。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

国民投票用紙

裏

折目

日本国憲法改正国民投票

選挙管理委員会

都(道府県) (市) (区) (町) (村) 印

本年もよろしくお願いたします



1・6面写真：システム労・藤本 隆佑

新年御挨拶

日本労働組合総連合会(連合)

会長 芳野 友子



謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、日頃より連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

多くの方々の支えにより4年あまり続いたコロナ禍を経て、5類感染症に移行して初めての新年を迎えました。その一方で、物価高による生活苦を感じる方々が大勢おられます。持続的な賃上げが可能となるよう経済社会のステージ転換を図るため、サプライチェーンにおける労務費を含む価格転嫁の実現を強く訴えて参ります。

また、世界を見ると「平和なくして労働運動なし」との信念が今もなお脅かされる脆さもあることを痛感しています。同じ空の下、戦火に不安を抱えながら命をつないでいる仲間の安全を祈り、改めてその想いを強くしたいと思います。

ジェンダー平等や社会的な対話の促進は、あらゆる連合運動の基盤となる取り組みです。これまでの取り組みを踏まえながら、連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会―まもる・つなぐ・創り出す―」に加え、「はたらくのそばで、ともに歩む」のキャッチコピーとともに、皆さまの期待に沿えるよう、スピード感を持ち、ジブングトとして課題に取り組みします。

本年も皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。

迎春

鉄道ファミリーは組合と共に歩み
皆様をしっかりとサポートします

- ▶がん保険・医療保険・介護保険
- ▶自動車保険・サークル保険
- ▶JR積立年金・組合旗・組合バッヂ
- ▶すみっこ商店・健康食品等

今年もよろしくお願いたします



JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 目黒むぎの丘
電話 JR 058-4114・5 NTT 03-3490-3862